

学校教育目標 「知・徳・体の調和がとれ たくましく 生きる力をもつ 子供の育成」

創立150周年を迎えた 地域とともにある学校

令和6年3月22日 第15号

芦屋町立芦屋小学校

文責：勝木 久美

住所：芦屋町白浜町3786

電話：093-223-0059

全校児童数 180名



芦小だより

3つのあ「あいさつ・あんぜん・ありがとう」

ご支援・ご協力 ありがとうございます

早いもので、本日をもちまして、令和5年度の学校生活が終了します。新型コロナウイルスの影響を受けてきた数年間でしたが、様々な教育活動や行事等を見直す機会ができ、「本来」の形からリニューアルして行うことができました。これも、保護者や地域の皆様のご理解のおかげです。ありがとうございました。

さて、今年度を終えようとしている今、改めて思い起こすことがあります。この学校だよりを通して、子供の自尊感情を高めるためのヒントを共に考えてきました。人と人がかかわるときの言葉や振る舞いが、人の心を温かくつつみこみ、幸せな状態「ウェルビーイング(Well-being)」になることがあります。一例として、エピソードを紹介します。休み時間や昼休みなどに子どもたちが、「校長先生～～(見てください!)(聞いてください!)」と運動場や中庭の遠いところからでも満面の笑顔で手を振って駆け寄ってきてくれて、できるようになったことを伝えてくれたり遊びに誘ってくれたりすると、本当に心が温かくなります。また、各学級の発表会や1年間の納め会に呼んでくれて、堂々と成果を披露する姿を見せてもらい、自分も頑張らねばと勇気をもらいました。保護者の皆様からは、我が子の成長に対する担任への感謝の言葉を、出会ったときや電話にて直接聞かせていただいたこと、また地域の皆様からは、子供たちの地域での様子についてお言葉などをいただく機会が多くあり、たいへん嬉しく思いました。もちろん、時にはご指摘やご指導をいただくこともありましたが、学校や子どものことを思っただきであるからこそ、伝えにくいことをお伝えいただいたと思い感謝しております。

今週は、6年生がいない中での学校生活でした。新リーダーである5年生のもとで、後輩達の登校を促し、元気に挨拶してくれる姿がありました。子供たちは新しい学年に向けて心と体の準備をしてくれているように思います。雨の日も雪の日も、交差点や辻ごとに立って、子供たちの登下校の安全を見守ってくださいました多くの地域ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。年度末、子どもたちは、慣れ親しんだ担任と離れることには当然、不安やさみしさを感じるものですが、一方でこれからの新たな出会いにも期待が膨らみます。別れと出会いを繰り返していく中で人は成長していくものだと思います。毎年のことではありますが、心が揺れる時期ですので、お子さまの不安を少しでも和らげ期待を大きく膨らませていただけるよう、声掛けをよろしく願いいたします。最後になりましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動に多大なるご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

令和6年度は、さらなる「あしやっこ」の健やかな成長のために、効果ある教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者・地域の皆様の変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



3月の全校朝会「してほしい手話のこと」
(あさがお学級・4年生 企画)



今、修了証書を渡しました。修了証書は、皆さんが「この一年間、よく頑張って、それぞれの学年の勉強や生活を修了することができました。」ということを実証するものです。みなさん一人一人の頑張ったところや、成長したところを大事にして、全員の進級を認めました。今日帰ったら、修了証書を家の人にしっかり見せて、大切に保管してください。さて、3学期は、51日間(学年で若干違います)ありました。1月9日の始業式で、「3学期は、今の学年のまとめだけでなく、新しい学年の『0学期』」というお話をしました。1年生から6年生まで、どの学年も、今日まで、みんなと先生方とで、勉強や運動を一生懸命に頑張ってきました。特に、3月1日に行われた「6年生を送る会」では、芦屋小みんなの心の大きな成長を感じました。

心は目に見えませんが、みんなの心が一つの輪になって繋がっていると強く感じました。「本当に大切なものは目に見えにくく、感じるもの」と言われます。みんなの心を一つの輪で繋いでいる大きな力は、たくさんあると思いますが、私は3つの「あ」で考えました。最初の「あ」は、「挨拶」です。挨拶で、心と心が繋がりました。今は、5・6年生の挨拶が下級生をリードしていることが素晴らしいです。これからも、もっともっと明るい挨拶が響き渡り、「笑顔があふれる学校」になることを期待します。つぎの「あ」は、「ありがとう」という感謝の気持ちです。頑張っている自分に「ありがとう」。お父さん、お母さん、家族に、「育ててくれて、ありがとう」。そして、学校と一緒に過ごした友達や下級生、お世話になった上級生、先生方に「ありがとう」。さらに、みなさんを支えてくださっている地域の方や、かかわってくださった全ての方にも感謝しましょう。「ありがとう」という感謝の気持ちで、人の心は更に強くつながっていきます。1年生から5年生は、春休みの間に、一つ上の学年になったら何を頑張ろうか、しっかりと考えてください。最後の「あ」は、「あたらしい学年に心をつなげよう」の「あ」です。学校はお休みでも、「新しい学年の0学期」は、続きます。4月8日の始業式まで、病気や事故に気を付けて、「命」を大事にし、「笑顔」があふれるあしやっ子でいてください。

150周年記念モニュメント除幕式

150周年記念モニュメント オリジナルソング「今ここにあるもの」の除幕式を行いました。150周年記念行事実行委員会が中心となり制作したレリーフが子供たちにお披露目されました。デザインを検討するにあたり、子供たちが喜ぶものを製作したいという実行委員会の想いを受け、黒板をイメージしてレリーフにしました。レリーフが姿を見せると、子供たちから歓声が上がりました。これからも多くの方々に見ていただき、永年遺産になるよう努めていきます。❀学校へお越しの際は、是非ご覧になられてください。



体育館ステージ右 壁時計下に設置

※ レリーフは、山元建設 山元彪ノ介 様(第32代 PTA会長)に設置していただきました。

春休みが終わると、一つ上の学年に進級し、新しい学年で、新しい生活がスタートします。ぜひ、心の支度をしておきましょう。この春休みは、規則正しい生活を送ることが、新学期からの基盤になります。宿題も出していますので、午前中のうちにしっかりと学習し、新学期に備えましょう。